



「妙高市民の心」 取組事例

◇秋の恒例行事【落葉はき】

ふれあい放課後児童クラブ
(NPO 法人 ゆめきゃんぱす)

＜活動の概要＞

いつも遊んでいるふれあい会館周辺の秋は落葉がいっぱいになります。掃除をしている方が大変そうなので手伝った事がきっかけです。

落葉をはく人・集める人・袋に詰める人と仕事を分担し協力して自分たちが遊ばせてもらっている公共の場所をきれいにしています。

＜活動の特色＞

小さな力でも大勢集まれば大きな力になり、きれいになっていくことや地域の方から褒められる事が子ども達も楽しみになり進んで掃除をしています。

集めた落葉をたい肥にしている方からも喜ばれ SDGs にもなっていることに最近気づきました。

＜活動の成果＞

毎日、続けることで公共の場がきれいになりました。

掃除をしている方や集めた落葉をたい肥にしている方からも感謝され、労働の本当の喜びを知ることが出来ました。

家では使わない竹ぼうきや熊手も上手に使えるようになりました。

落葉はきをしながら、様々な学びにつながっています。



竹ぼうきや熊手で、落ち葉を集めます。



手分けして袋に入れて、協力して片付けます。





◇「妙高山新聞」の配布による一人暮らし高齢者の見守り訪問活動

新潟県立新井高等学校 社会科クラブ

<活動の概要>

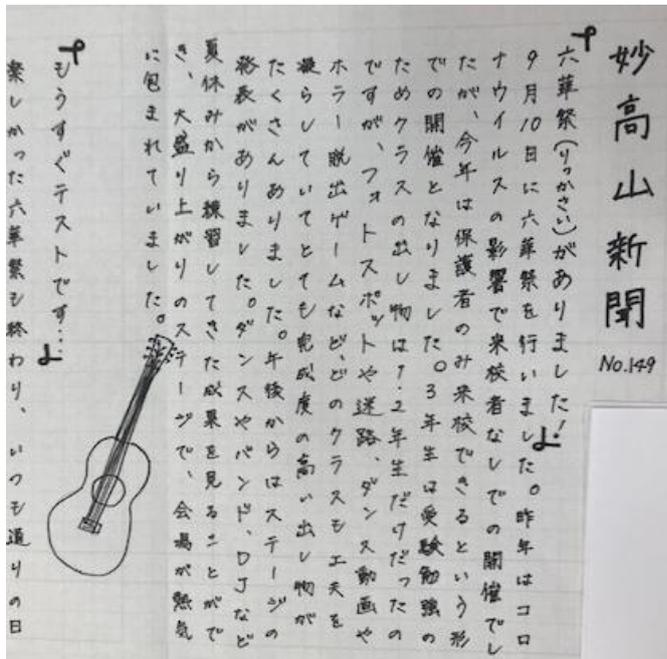
新井高校社会科クラブは創部以来、地域の歴史や自然活動・文化などを研究してきました。1976年からは社会福祉協議会と連携した高齢者の見守り活動や、高齢者施設の訪問など地域に根ざした活動を行っています。多くの先輩たちが訪問先の地域の福祉施設などで働いていて、声をかけてくださることも多くなりました。現在は16名の部員で仲良く様々な活動に取り組んでいます。

<活動の特色>

妙高市社会福祉協議会と連携して月1回、一人暮らしの高齢者のお宅を訪問して、学校の様子や健康の話題を載せた「妙高山新聞」を配りながら、地域の高齢者と学生が相互に会話を楽しみ、交流を深めていく取り組みが、地域のあたたかい見守り活動にもつながっています。

<活動の成果>

学生が手作りした「妙高山新聞」で様々な話題を提供しながら、日常の会話を通して、「体の調子はいかがですか?」、「何か悩んでいることはないかな?」など、高齢者へのさりげない見守りは、気軽に助け合える「あったかネットワーク」の人の輪づくりや、高齢者が地域から孤立することなく、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていける地域づくりに貢献しています。



高齢者の皆さんに配布する「妙高山新聞」(一部抜粋)



スキルを高めるボランティア研修1



スキルを高めるボランティア研修2



◇地元のシンボル・鳥坂山の歴史（鳥坂城跡）と自然を守り、地域還元と全国発信する活動

鳥坂城跡保存会

<活動の概要>

（活動年数：昭和40年代年から約半世紀もの長きにわたる活動）

姫川原地域のシンボルである鳥坂山に位置する鳥坂城跡を整備すること約50年間、鳥坂城跡の遺構はもちろんのこと、周辺を含めて良好な里山環境が維持されています。市から受託した、年間4回以上の草刈りと、冬囲い、囲い外しなどの現地作業を実施しています。また、市外への研修旅行や講師を招いての研修などをとおして自己研鑽に余念がありません。

<活動の特色>

以前は、地元姫川原小学校の総合学習の支援をしていたが、小学校が統合してからはその活動がなくなってしまったものの、案内を希望する学校への支援を行っています。市内だけではなく市外からの小学校の依頼も受け入れています。近年、当保存会の調査研究の成果として鳥坂城の歴史が解明されつつあり、それらを含めて当城の魅力を全国の人たちから知っていただこうと、普及活動に力を入れています。

<活動の成果>

テレビや歴史本などで有名な研究者を招聘し、現地調査を実施しています。著書に取り上げられたことや、城好きな人を招いてモニターツアーを実施した結果、SNS等で鳥坂城跡に関する内容が発信されるなど、最近、全国から城好きの人が訪れるようになってきました。



城マニア「いなもとかおり」さんを招いた現地見学会



研究家の西股総生さんを招いた現地調査



市内小学生の案内支援



希望者を募っての散策会

